

「外国人と働く日本人介護職員に向けた協働環境構築に関する研究」 ご協力をお願い

【研究の目的】

日本では東南アジアの外国人ケア労働者が導入され、介護現場では多文化化が進んでいます。そして日本のケア現場では、外国人と日本人との文化差や職場慣習の違いなどにより、外国人が働くことで職場に困難な状況が生じ、精神的に疲弊する外国人、日本人のスタッフがいます。これら文化の違いによる困難は、異文化理解を深めていくことで解消されることが多いです。

本研究では、これまでの異文化間ケアの先行研究からの知見を基盤に、ケアの方法や、個人の価値や集団との関わり方など、ケアの営みに潜む文化的乖離を解消することを目的に、外国人と日本人の相互理解を深める「異文化間ケア教育」のパンフレットを用いて、現場のニーズについて把握をしたいと考えております。

この研究の成果は、外国人と日本人の相互理解に基づいた職場環境の構築に役立つものと期待されます。アンケートの回答をもって、同意を得られたものと考えます。

【研究の方法】 ご協力していただきたい内容は以下のとおりです。

1. 異文化間ケア教育のパンフレットを熟読（約 10 分）

日本で就労する外国人の職業人としての成長に向けた異文化適応の概念を説明し、日本の職場慣習や生活、文化について、外国人と日本人と協働するための必要な要素を盛り込んだ教育パンフレットを読んでもらいます。

2. アンケートへの回答（所要時間約 3 分）

- ・異文化間ケア教育パンフレットの内容評価、職務への満足感、協働への意欲など

なお、この調査は危険を伴うものではありませんが、途中で止めたくなくなった場合は、いつでも中断してください。

3. 謝礼

「異文化間教育プログラム」に参加し、アンケート回答した日本人スタッフへ 300 円分の Quopay カードの謝礼をお渡しいたします。 配布に当たり、メールアドレスをお教えください。なお、個人のメールアドレスは Quopay カードの配布以外には使用いたしません。

4. ご参加いただきたい方

- ・介護施設等で働く外国人と日常的に接する機会を持ち、かつ同じフロアーや同部署で働く日本人スタッフ。
- ・外国人と接する機会のない日本人スタッフの方
- ・施設長、及び管理者として外国人を統括する立場にある日本人。
- ・「異文化間ケア教育」パンフレットをお読みにになり、自主的にアンケートに協力して下さる方。

ご参加いただけない方

- ・研究の目的を理解し、自記式質問紙に単独で回答できないほどの認知力、視力、コミュニケーション能力、筆記用具等の把持力が低下している方

【倫理的配慮】

1. 研究への参加が任意であること

この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。研究に参加しないことによ

って、不利益な対応を受けることはありません。このアンケートは無記名での実施のため、いったん参加に同意した場合、個人の特定が難しく同意を撤回することができません。

2. この研究への参加を中断する場合

研究への参加・協力は自由意思によって行ってもらいます。同意された方でも、回答を中断することにより同意を撤回することができます。この研究に参加、又は不参加のどちらにおいても不利益は一切ございません。また、この研究に関する不可避的侵襲はなく、身体的・心理的・社会的危害はございません。

3. 個人情報の取り扱い、調査用紙、データなどの保管、処分について

あなたの個人情報や提供されたデータ、およびデータが記された資料は、この研究を遂行し、その後検証するために必要な範囲においてのみ利用いたします。この研究のために研究従事者以外の者または機関にデータを提供する必要が生じた場合、または現時点では特定されない将来の研究のために用いる場合は、あらためて倫理審査委員会での審査を受け適切に対応します。本研究では、あなたから提供されたデータ、およびデータが記された資料は、匿名化された上で、鍵をかけて厳重に保管します。この研究の終了後5年保管した後、あなたから提供されたデータ、およびデータが記された資料は、個人情報が外部に漏れないようにした上で廃棄します。結果を学会や学術雑誌などに発表することがありますが、その時には個人を特定できないようにし個人情報は保護いたします。

4. 研究のための費用

この研究にかかる費用は 文部科学省科学科研費・梅花女子大学個人研究費 から支出されます。

5. 予想される利益と起こるかもしれない不利益

【予想される利益】

この研究に参加することによって、あなたに直接的な便益はありませんが、研究成果は以下の点で、今後の研究の発展に寄与すると考えられます。

第一に、外国人と日本人の協働できる職場環境の構築

第二に、外国人と関わる高齢者へ、外国人からの質の高いケア提供につながる

8. 知的財産権の帰属

この研究の成果により特許権等の知的財産権が生じる可能性があります。その権利は、この研究の責任機関である梅花女子大学、また研究者の畠中香織に属し、参加者の方には属しません。

9. 本研究は梅花女子大学研究倫理審査委員会の承認を得て行います。

●疑問や質問等がございましたら、下記の研究代表者の連絡先までお問い合わせください

連絡先：梅花女子大学 畠中香織 〒567-8578 大阪府茨木市宿久庄2-19-5

電話番号：072-643-6221 E-mail：k-hatanaka@baika.ac.jp